



泉佐野市では オーガニック給食を 始めています

問合せ先 学校給食センター (☎463-6234)

オーガニック給食の提供を開始

オーガニック給食とは有機農産物（オーガニック農産物）を用いた給食のことです。子どもたちの学校給食に、化学農薬、化学肥料を用いないことで環境に配慮して生産された有機農産物を使用することは、生物多様性の保全と肥料原料の輸入依存対策に有効で、持続可能な社会の実現（SDGs）に貢献します。

泉佐野市ではSDGsの観点から、令和6年4月より有機農産物（オーガニック農産物）を使ったオーガニック給食の提供を開始しました。市内全部の小・中学校の学校給食で、パンは国産有機小麦粉パン、生鮮野菜は約50%以上有機野菜を取り入れ、米は特別栽培の地場産米100%で実施しています。

また、生鮮野菜は地場産品を優先して使用し、地場産品が市場にない時期は有機農産品を出来るだけ使用し学校給食を提供しています。



ほぼ毎日、何かのメニューに有機食材を使っています！

国産有機 小麦粉パン！



数量の少ない
国産小麦粉の中でも
さらに数量の少ない
国産有機小麦粉を使用！

野菜&調味料



野菜はできる限り
有機地場産品を、
調味料にも
有機食品を使用！

特別栽培の 地場産米100%！



有機米ではありませんが、
化学農薬や化学肥料の
使用量を通常の半分に抑えた
「大阪エコ農産物」の認定を
受けた地場産米を100%使用！



有機農産物とは…

「有機」と「オーガニック」は同じ意味で用いられています。農林水産省では、ガイドラインに準拠した「有機農産物の日本農林規格」の基準に従って生産された農産物のことを指すとしています。

この基準に適合した生産が行われていることを第三者機関が検査し、認証された事業者は、「有機JASマーク」を使用し、有機農産物に「有機○○」「オーガニック○○」などと表示することができます。認証を受けていない農産物に「有機○○」「オーガニック○○」などの表示を行うことはできません。

自校方式給食施設を建設します

給食センターの老朽化による建替を検討しましたが、食育の推進と防災に寄与するため、給食センター方式から自校方式に変更する方針へ変更しています。

市内13小学校中9校に自校方式給食調理施設（一部親子方式）を整備します。

【今後のスケジュール】

- 令和8年度2学期から供用開始予定
第二小学校・末広小学校・北中小学校（第一・第三小学校へ配送）
- 令和9年度2学期から供用開始予定
長南小学校・中央小学校・日根野小学校（上之郷・大木小学校へ配送）
- 令和10年度2学期から供用開始予定
日新小学校・長坂小学校・佐野台小学校



子どもたちの将来、未来のために
オーガニック給食を通じて
環境についても
考える機会になるよう
今後も取り組んでまいります



学校給食担当理事
田中伸宏